

大雨のため日本各地で災害が多発し、多くの命が失われた。ご冥福をお祈りします。高齢者の多い山間部ではこれから更に災害時に被害が増すと考えられ心配だ。

先日日光に出掛けた際、外国人観光客の多さに驚くも、隣に座ったスペイン人夫婦のノリの良さに感心。外来に来るブラジル人達の日本人にない解放感にも通じ、身近に外国人が増えるのも良いかなと思った。多様な価値観に触れ、外国語を話す機会と必要度が増す。日本文化が損なわれるとの指摘もあるが、逆に日本人が自分の文化を再度学ぶ良いきっかけになるかも。元気な若者が増すのがとにかく大切だと思う。(犯罪の心配はあるけれど)

外来での実感は、高齢の父母を支える世代の急減だ。在宅介護でのマンパワー不足と、入所施設の飽和。ここ数年で増々状況は悪化している。外国人移民を受け入れるのも方法だ。皆が知恵を出し合いつつ、納得しながら解決するしかないか。かなりタイムリミットは迫っていると思う。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

## 【訪問介護】

ハーブのキャラクター〈ちむロン♪〉が決まり、ヘルパー一同でちむロン♪人形を作りました。利用者様の誕生祝いにプレゼントさせて頂いています。

デイサービスに行くときに持っていく人、バッグにつけてくださる人、部屋に飾ってくださる人……皆さんそれぞれ可愛がってくださいます。

ちなみに、ちむロン♪の「ちむ」は沖縄の言葉で〈心〉を表します。私達ヘルパーの心・愛が介護の中で利用者様に伝わるようにこれからも支援させて頂きます。

## 認知症ツメ知識

アルツハイマー型認知症は、ゆるやかな記憶障害の進行が特徴です。進行を遅らせるために大切なことは、生活の範囲を狭めないことと、笑顔の多い生活を創造することです。介護サービスを利用した生活環境の改善は、大変効果のある方法です。



## 【回想法・学習療法デイサービス】

今月の手作りおやつは、心太！でした。天草から煮だした、本格的な心太です。

皆さん、袋入りの天草を見て「昔よく作った」「箸一本で食べるのよ」などと、楽しそうな会話があふれました。

お一人ずつ順番に専用の道具で心太をお皿に押し出して酢醤油と黒蜜のお好きな方をかけて召し上がられていました。

お隣の方が何をかけているのか、その味はどうなのか等と会話はつきず、とても楽しく美味しい時間を過ごして頂けたと思います。



## 【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

『今日もコロッケ、明日もコロッケ…』

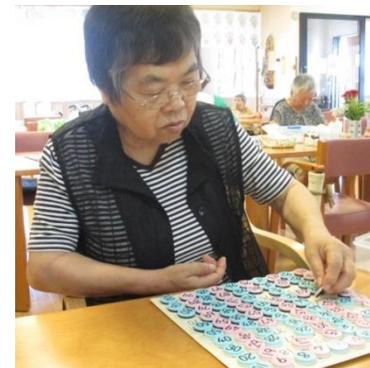
こんな歌が昭和の初め頃に流行したそうです。

『最近では家でコロッケを作る家庭が少ないけれど、昔は家でコロッケを作るのはあたり前だったのよ！』とTさん。農家の嫁の定番料理とか。

農協の友達を家に呼んで、畑で作ったジャガイモを使って、大量にコロッケを使ってご近所さんや親戚に配ったんだそうです。

みんなで、出来立てのコロッケをたべながらおしゃべりを楽しまれたそうです。

頭の体操では、みなさんのなつかしいお話をいろいろ聞かせていただいています。



学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科 検索

